

迎春



新年あけまして
おめでとうございます。

今年も会員の皆様にとって輝かしい年でありますようお祈り申し上げます。

平成7年 元旦

 **三重電気会報**
平成7年1月発行 第69号



年頭所感

三重県電気工業業組合
三重県電気工事協会の

理事長
会長
青山登志男



新年を迎え、皆様のご健勝とご繁栄を心よりお祝い申し上げます。

昨年来の重苦しい不況色の中で新年を迎える事となりました。長かった不況もようやく底を打ち、景気回復宣言が報じられました。ゆるやかながら少しは薄日のさすような気配が感じられます。

経済の伸び悩みによる内需不振や、一段と進む円高ショック、ついには一ドル96円、戦後の最高値の記録を続けている中、建設業を

取り巻く環境は厳しく、私達業界にとっても依然不透明の感は拭えません。

経済不況の中にあつて、工事量の絶対的不足が需給のバランスを崩して、価格の競争が激しくなっている現況に加え、建設業者の締め付けは請負金額の差値まで強くなっていくようであり、建設業者も多分にもれず、価格競争時代に入り、弱肉強食をおびた、なりふりかまわぬ生き残りをかけている。

さて、我々業界には規制による格別な擁護も特権もございません。不安と混乱の時代であります。しかしながら公共投資と住宅着工件数は確かに顕著な伸びを見せて推移しておりますが、

反面、個人消費と民間の企業投資は依然として低迷を続けております。

我々にとって受注の拡大こそが最大の良薬なので、その為には何がなんでも我々の念願である分離発注に力を注いで行かねばなりません。今後は、技術力を高め、ハイレベルな資格と高度な技術が要求されてくる事が予測されます。ハイテク技術、省エネ技術等の対応が求められてまいります。

ます。

このような大きな転換期に対応する為にも、高度な技術を持った優秀な人材の養成、経営の近代化への転換を図ってゆかねばならない。組合組織の強化と技術力の時代の対応に真剣に取り組んで、魅力ある組合づくりに執行部一同力を合わせて頑張る所存です。

と緊密な連携を保ちながら一層の発展を願ってやみません。

せめて初春の抱負として

- 一、分離発注の推進
- 二、共同保守管理の推進
- 三、アウト業者の対策として一店でも多く組合への加入の促進

を本年の目標としたい。

最後になりましたが、組合員の益々のご繁栄ご健勝を祈念致しまして年頭のご挨拶といたします。

新年ごあいさつ

中部電力株式会社
取締役三重支店長



山崎昭平

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、ご家族お揃いで清々しい新春をお迎えのことと心からお慶び申しあげます。

また、昨年中は、当社の事業運営につきまして格段のご支援とご協力を賜り厚

くお礼申しあげます。

昨年を顧みますと、わが国においては政治改革を求める世論の高まりを背景に政権が目まぐるしく交代し、政治体制が根底から覆され、さらに経済情勢は、個人消費を中心として回復傾向に向かいつつあるものの、円高や設備投資の低迷等懸念すべき要因も多く、その足取りはきわめて穏やかなものにとどまった年であったと思います。

(三画へつづく)

(二面よりつづく)

当社の販売電力量は、記録的な猛暑の影響もあり昨
年上期は五五七億KWhと
前年同期に比べ八・三%の
増加となりました。また、
最大電力も過去の記録を七
回も更新、八月四日には二
五六三万KWに達し、適正
予備力の確保に四苦八苦の
時期もありました。

さて、電力業界への新た
な社会からの要請として、
一つは現行の電力供給体制
の柔軟化、もうひとつは電
気料金の抑制があります。
私どもは、電力の安定供給
と電気料金の長期安定を自
らの使命とし、効率的な経
営を心掛ける一方、電源開
発にも鋭意努め、お客さま
の付託にお応えしてきたと
ころであります。お客さま
の声を謙虚に受け止め、
今後経営に当たって規制緩
和への取り組み、設備投資
抑制によるコスト低減を積
極的に推進し、一層の効率
化を追究して参りたいと考
えております。

三重支店の重要課題は電
源開発の推進と負荷の平準
化であります。

会員の皆様方には従前か
ら「芦浜原子力発電所立地
の推進」「深夜電気温水器
の普及促進」に大変お世話
になっていますが、従業員
一丸となり活動を展開いた

新年のごあいさつ

中部電気工事業 厚生年金基金
理事長 加藤 金太郎



皆様、新年明けましてお
めでとうございます。

年が改まりますと、また
この年に大きな期待を抱き、
抱負を語り、そして新たな
飛躍を願うのは誰もが共通
の習わしであります。果
たして平成七年度はどのよ

しますので、より一層のご
支援をお願い申し上げます。

最後に、貴組合および会
員の皆様とご家族の一層の
ご発展とご健康、そして、
安全を祈念いたしまして新
年のご挨拶とさせていただきます。

うに展開していくのでし
うか。

昨年は年金改正法案が成
立しました。国民の間から
改善だ、いや改悪だとさま
ざまな評価をうけているよ
うですが、基金を預る者の
一人として率直に評価させ
ていただくならば、日本の
年金制度が今日の水準に到
達したのは、やはり先人達
の知恵と努力、それも我慢
強い努力の積み重ねによっ
て世界のどの国と比較して

も遜色のないものに発展し
てきたものと思います。今
度の改正はやはり大きな前
進につながるものと信じて
います。

現在私も年金受給者の一
人ですが、この不況
下でありながら定時に年金
が間違いなく支払われると
いうことは、老後の生活に
どれだけ安心感を与えてく
れるか計り知れないものが
あります。

さて厚生年金基金制度は
国の認可をうけて厚生年金
の資金の一部を預り、その
部分にかかる年金給付を行
う機関であります。これ
に併せて、企業からも独自
に退職積立金に相当する部
分について負担をお願いし
ております。基金はこれら
の年金資産を有利に運用し、
収益金を確保することによっ
て国の年金よりも二五%も
有利な厚みのある年金給付
や一時金の給付を行って
おります。私どもの基金は設
立二十三年を経過し、保有
する年金資産は二百十億円

を超える規模に成長いたし
ました。そして嬉しいこと
は、母体であります愛知、
岐阜、三重、長野の各県工
業組合には大変なご努力を
いただいております。近年加入
者が急激に増加しており、
昨年十二月末日におきまし
ては八千八百人になろうと
いう勢いがあります。これ
は他の基金には見られない
現象であり、いかに各県工
組役員及び事務局の方々が
努力していただいているか
を考えると、改めて深く
感謝申し上げる次第で
ございます。

バブル崩壊後、運用環境
が低迷しているため、どの
基金も含み損が発生するな
ど、本来健全であるべき年
金資産に影響が出てきてい
ます。私も責任者として最
善の企業努力を傾注し、資
産の健全化に向けて一段と
頑張る所存でございます。
どうぞ本年もよろしくお
願い申し上げて新年のご挨拶
といたします。

三重県支部会員の皆様へ

社団法人 東海電友共済会

理事長 源 馬 弘



新年、明けましてお目出
とうございます。

皆様には、健やかな新春
を迎えられましたことと心
よりお慶び申し上げます。

社団法人東海電友共済会
につきましては、三重県の
皆様方には多数のご賛同と
ご加入を頂き、常々格別の
ご協力を賜わっております
ことにつきまして、誠に有
り難く厚くお礼申し上げます。

平成七年の新春を迎え、
第二次大戦後まさに半世紀
の節目の年となりました。
我が国は敗戦から復興へ、
復興から成長へと進み、世

界総生産の一五%を生産し、
目覚ましい発展を遂げ、世
界有数の経済大国となりま
したが、反面、主要先進国
との間で大きな貿易摩擦を
引き起こしているのが現状
であります。国内の経済状
況は依然として不況感が消
えず、バブル景気崩壊の後
遺症は、金融や産業全般に
暗い影をおとしており、景
気も低迷状態から脱出出来
ないまま新しい年を迎えま
した。

このような状況の中で、
東海電友共済会の運営につ
きましては、常に健全運営
を基本に心掛け、少しでも
会員の皆様のお役に立ちた
いと日夜腐心をしている次
第であります。

昨年は永年の懸案であり
ました代議員制度の基準等
が可決承認され、合理的運

営に一步前進出来ましたこ
とは、全て皆様のご理解と
ご協力の賜と深く感謝申し
上げる次第でございます。

我々零細企業の雇用条件
は厳しくかかる時こそ、共
済事業が会社で働く者にとっ
て将来の夢をもたせ、万一
の場合の補償上乘せとして
の安心感を与え、大きな役
割を果たすものと思えます。
会員の増加は、会の運営基
盤を強固にする第一条件で
ありますので、今後共、会
員増加にご協力賜わらんこ
とをお願い申し上げます。
これからますます厳しい寒
さに向かいます。皆様方の
ご繁栄とご多幸をお祈り申
し上げご挨拶と致します。

第十二回電気工事業 全国大会に参加して

常任理事兼 広報委員長 倉田 隆

十一月十一日、自然と都
市が共鳴する一ツ葉海岸
に、このほどオープンした
宮崎市のリゾート施設「シー
ガイア」の「コンベンショ
ンセンターサミット」で
「はてしなく続く空と海、
輝く太陽電気の未来」をメ
インテーマに、来賓を合わ
せ約一、四〇〇人が一堂に
会して、全国大会が盛大に
開催された。

大会は十日の青年部研修

縮によるコストアップへの
対策について、生産性向上
をするための工程管理が、
建築業者に左右されて自主
性がもてない、専門工事業
者としての地位の確立と、
建築業者との対等平等の連
帯関係を構築して行くこと
が必要である旨の意見が出
され、建設業全体の問題と
して提案された事は、これ
からの電気工事業の前進と
なる。

分科会の討議に基づき、
①電気工事関係各種資格制
度とその社会的位置付けの
明確化

②先端技術への挑戦と高度
な技術集団としての意識改
革

③労働時間短縮促進と経営
改善への努力等、八項目の
大会決議を行った。

又、式典の中で米沢会長
は、高度な技術を持った人
材育成と、思い切った経営
近代化への発想の転換を喚
びたいと必要性を強調して午
後五時十五分終了した。

技術委員業務研修会実施報告

常任理事兼
技術委員長 岡野秀隆

研修会業務実施は二日間
に及びますが、委員全員出
席の計画の元に十一月十四
日・十五日の両日に、残念
ながら九名で実施。一日目
は三菱電機中津川製作所、
日東工業中津川工場、二日
目は松下電工瀬戸工場に研
修を実施して参りました。

三菱電機では「HUMN
& HEALTHY」人間と
健康と言う意味だと思いま
すが、H&Hシステム展示
場にて質疑応答を兼ねた換
気扇運転音比較、ファン制
御技術、ロスナイ技術を二
時間説明を受け、研修会場
を日東工業中津川工場に移
動。日東工業は、中津川工
業団地の一角で従業員八十
名の小規模な近代設備を備
えたキュービクル製造工場
でした。設置場所を取らな
い大幅に縮小化された小型
キュービクル、特に目につ

いたのが、複数の銅帯を重
ね耐熱塩化ビニールで絶縁
された「アイソラム」フレ
キシブル可導体で、低圧側
回路に使用。質疑応答では
リサイクル温度上昇の解消。
二日目の松下電工瀬戸工場
は、サーキットブレーカー、
マグネット、アロー分電盤、
NM盤の製造工場で、サー
キットブレーカの製造など
は昼夜無人稼働一貫総合生
産ライン。工場内視察後、
質疑応答では、ホーム分電
盤のSBの二次側のカバー
無き物が中部電力の手直の
対象になる支部も有る様で
すが、電力の手直しの統一
を図って行きたいと思いま
す。二日間の研修は有意義
なものだったと報告させて
いただきます。なお、来年
度はオリンピックも実施さ
れますが、会員皆様の御協
力をお願いします。

▶ 会員異動のお知らせ ◀

前号以降の会員異動は下記のとおりです。名簿の追加修正をお願いします。(事務局)

支部	種別	新	コード番号	事業所名	代表者	住所	電話番号	郵便番号	登録(届出)番号
志摩	新規加入		33468	㈱ 山川電気	山川利喜男	志摩郡阿児町安乗740	05994 7-3779	517-05	(届出)94-18
"	"		33469	松尾電気	松尾平兵衛	志摩郡浜島町大字浜島880-1	05995 3-0266	517-04	6-36
伊勢	退会		33048	折戸電気商会	折戸 松生	度会郡二見町溝口312-19	05964 3-2610	519-06	3-241
四日市	"		34005	野沢電機工業㈱	野沢 明	四日市市小杉街1850-1	0593 31-7878	510	(届出)55-28
久居	承継加入	新	31322	飛田電機	飛田 勝馬	久居市戸木町1876	0592 55-3662	514-11	(届出)94-16
伊勢	"	新	33134	㈱ 永田電気	永田 恒生	度会郡御穂村長屋上長屋1688-7	0596 23-8222	516	6-26
鳥羽	"	新	33302	㈱ 出口電気商会	出口 裕朗	鳥羽市鳥羽4丁目18-31	0599 25-2505	517	(届出)94-19
"	"	新	33322	㈱ 三谷電気	三谷 光一	鳥羽市石鏡町240	0599 32-5420	517	2-86
四日市	"	新	34075	松尾電器商会	松尾 和善	四日市市中川原2丁目1-10	0593 51-8751	510	3-88
上野	変更	新	31500	フジサワ電化	藤沢 仁司	阿山郡伊賀町大字下柘植139-1	0595 45-3012	519-14	6-31
松阪	"	新	32103	田中電気工事店	田中 高夫	多気郡勢和村大字波多瀬1124-1	059849 2190	519-22	6-101
伊勢	"	新	33067	㈱ 日光電気	松崎 繁	伊勢市通町430-2	0596 25-6158	516	(届出)51-36
志摩	"	新	33450	片電工事	平賀 三行	志摩郡志摩町片田316	05998 5-2021	517-07	2-92
四日市	"	新	34075	松尾電器商会	松尾 和善	三重郡菰野町大字竹成2095-1	0593 96-0514	510-13	3-88
鈴鹿	"	新	34707	扇立電気㈱	中西 尚	鈴鹿市神戸1丁目16-15	0593 82-0373	513	(届出) 460058
"	"	新	(協) 34290	㈱ トーエネック 鈴鹿営業所	小口 政男	鈴鹿市稲生町字正助谷8278-5	0593 70-5300	510-02	(届)大臣 4665
"	"	新	34745	㈱ 鈴鹿テクト	前川 泰彦	鈴鹿市矢橋三丁目4-12	0593 82-3241	513	(届出) 460061

社会に恩返しを!

上野支部 村脇 謙

新年明けましてお目出とうございます。

皆様方には、御家族お揃いで希望ある輝かしい新春をお迎えになられた事とお祝い申し上げます。

今年は亥年、私も五回目の年男を迎えることになりました。この機会に60年を振り返り今後の糧としたのですが、何も思い出せん。その日その日を懸命に生き、時代の流れのままに今日に至った様に思います。

私が一つ誇れる事を挙げるとしたら、それは私の施工した工場が、決まった時間に仕事を開始し、夜になると数多くの照明が点灯している事です。電気工事業をしていて良かったと思う瞬間です。
60年という節目を迎えて今後の人生に何か思い出に残る事をしたいと思います。又、後継者の問題を含め考

える人生に転換したいと考えています。そして、社会に一つでも御恩返しをしたいと思います。

景気の方も、昨年の後期よりやや上昇の様に思われます。

今年も電気工事業界にとって又、皆様方にとって健康で楽しい一年であります様心からお祈り致します。

もう一頑張り

鈴鹿支部 藤田 昌憲

昭和四十九年に、皆さんの仲間入りをさせていたから二十一年、本当に月日のたつのは早いものです。

年のほうも、五十の一手前、子供からは、オジクサイとからかわれ、自分の感じる年齢と、若い者か

はばたけ 我ら年男!



時間を有効に使う

津支部 梶川 泰司

明けましておめでとうございませう。今年も亥年、私も今年で三十六才となりませう。考えてみれば早いもので電気工事の業務に携わって十七年も経ちました。
毎年、年頭に抱負を考え、では慌ただしく時間だけが

過ぎてゆき、年末の頃にはその年の抱負すら忘れてしまっている様に思います。そこで今年には有効な時間の活用を心がけようと思いません。「忙しいからする暇がない」ではなく「する暇を作る」と考えれば物事は前向きに進むのではないかと考えます。猪のように猪突猛進だけではなく、周囲に

ら見られたときのギャップの大きさにガックリとする始末。

昭和五十年代は若さだけを武器に突っ走り、六十年代には、バブルに踊らされ、はじめて気がつけば、四度の年男、なんとめまぐるしく忙しいことか。

一昨年来バブルの後遺症に悩まされ、仕事の量、質

視野を広くもてるよう心がけてみたいと思いません。

与えられたポストに

全力で取組む

四日市支部 長谷川久継

私は電気工事の業界へ入って十四年が過ぎました。今年三十六才の五黄の亥です。「今年の運勢や如何と」才智あって弁舌もよく、着実に正直であるから、他人の信望を担って意外な出世をする反面、一時の短慮一徹が禍いして、大いに損失を招いたり、幸福を取り逃

ともに低下し、若者の就職難と社会的にも、大きな問題を抱かえて迎えた平成七年。

どうか景気も上向きとか、噂もちらほら。
息子も十九歳になり、二代目の時代近し。
もうひと頑張りするか。

がし、また尽くした俠気も縁の下の方持ちで終わることが間々ある。

開運の法は、自分の力を過信するのは禁物、第三者の意見を尊重し猪突猛進の強気は厳に慎むべし。
このように高島易断は戒めております、「くわばらくわばら」……

今年こそ健康に注意し、与えられたポストに全力で取り組んで行く所存です。
まだまだ未熟な私ですが先輩諸兄のご指導どうぞよろしく願います。



わかまち ぼうかい 〈桑名〉

伊勢の国、東の玄関口桑名は、中世は港湾都市、自由都市として、近世には東海道唯一、熱田の宮の渡しから桑名の渡しまでの海上七里の道程で街道沿いの宿場として栄えた。即ち、商都から城下町へ、さらに近代都市として発展してきた。東に伊勢湾、西に鈴鹿連峰、

南に伊勢平野、北には木曾長良、揖斐の三大河川に囲まれた典型的なデルタ地帯である。

もとは、米、木材の集散地として知られ、ことに、米相場は江戸蔵前の相場を左右したほどだったとも言われたが、時代の移り変わりに伴い、交通の発達によって、それも見られなくなつた。

しかし、今もなお交通の要衝として重要な役割を果たしている。

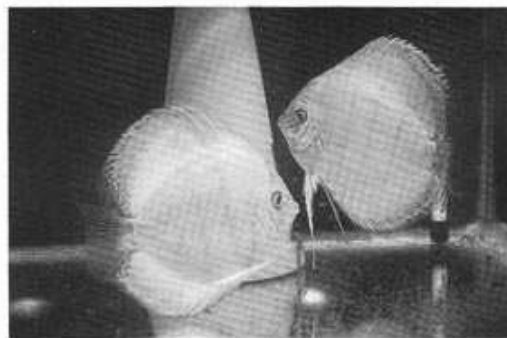
農林業、鋳物・陶器(万古焼)産業等が栄えた町であるが、何といつても全国的に知られている名物は、「その手は桑名の焼き蛤」「桑名の殿さんしぐれで茶々漬ハァーヨホイトナァ」など唄にもある、伊勢湾でとれる魚目の珍味であろう。十一万石の城下町桑名の城跡は、現在桜・つつじ・菖蒲等の名所「九華公園」と形をかえ市民の憩いの場として親しまれている。

本丸跡には城主を祀る

我が家の

マスコット

四日市支部 M・A



優雅に泳ぐディスカスのペアー

最近耳にする言葉に、風水ブームとか言われ、その一つに熱帯魚もよく聞きますが、我が家にも実は二十五年前よりグッピー、ネオンテトラから始まり、いろいろな種類の熱帯魚を飼って今尚飽きもせず続行中です。魚にもそれぞれの習性があり、水槽の中の掃除屋さんのプレコ、産卵した後、口の中に入れてふ化させて口の中で育てるアフリカンシクリット、又、ディスカスという魚は産卵しふ化するとオスもメスもミルク(体液)を体から出し、ふ化した約八十四匹くらいの稚魚を体にかけて二匹で交替しながら協力して子育てをします。世の殿方もちよっぴり見習って頂けたら……(いや失礼しました)

又熱帯魚の王様とも言われているこのディスカスは、優雅で美しく、やはりまだまだ当分はとりこになってしまいそうギョ!

「鎮国守国神社」が鎮座している。その神社にある宝物館には歴代の城主・桑名藩・藩校「立教館」関係資料並びに郷土に関する貴重な資料が沢山収蔵されている。「寛政の改革」「江戸三大検地」「幕末から明治維新」等を語るには欠かせない資料で各方面の研究者の間でも知られるところである。

関係団体の表彰

次の方々が各関係団体から、晴の表彰を受けられました。おめでとうございました。

6・10・28

三重県中央会会長表彰

(組合功労者)

大台支部 三井 義雄

四日市支部 条内 忠

(組合優良職員)

津支部 鹿間沙由美

6・11・11

六年度保安功労

電気安全中部委員会委員長

表彰

(電気工事業者の営業所)

四日市支部 榑織田電機

工業

四日市支部 泗水電機機

(電気工事士)

大台支部 村田 凱頭



組合員の皆さん 国民年金適用の方は国民年金基金へ 厚生年金適用の方は厚生年金基金へ

全員が年金基金へ加入を

全日電工連では、電気工事業界の福利厚生事業の一環として、国の年金制度の上乗せ年金制度である年金基金の拡充に努めています。

現在、厚生年金適用事業所を対象に電気工事業厚生年金基金(別表の12基金)、国民年金適用者を対象に全日本電気工事業国民年金基金(別表)を設立し、全国の電気工事業に従事する方々の老後の豊かな生活保障を目的として、加入促進を実施しています。

日本は世界有数の豊かな国として捉えられていますが、国の政策として、老後保障の充実にはさらに一段の努力が求められており、電気工事業界についても同様のことが言えます。

電気工事業界は、第一種電気工事士資格をはじめ、多くの国家資格を必要とし、また21世紀へ向けて、高度情報化社会の最先端に立つ技術集団として優秀な人材の養成が求められていますが、その為にも福利厚生事業の一環として年金基金制度の拡充に努めること、それが業界の活力となり、社会的認識も向上していくものと考えています。

全国の所属組合員の皆様方には、十分にご理解いただき、全員が年金基金に加入していただき、老後の充実した生活に備えていただきたいと思いますと考えております。

事務局職員紹介

△富田支部▽ 早川 道子

私が富田支部の組合の仕事をして頂く様になって間もなく事務局の研修旅行の機会が得られました。

まだ仕事にも慣れていないし他の事務局の皆様とも、お会いしたことがなかったのでどうしようかと思いましたが、オバタリアンの強心臓で厚かましくも参加させて頂きました。

皆様にお会いして本当に良かったのは仕事する場所がそれぞれ離れていますが、同じ仕事をやっているという事で横の連帯感が非常に強いという印象を受けました。

私にとっては正に無形の財産(つまり友達と仲間)が一度にたくさんふえた様な気持です。

個人の性格にもよるでしょうが年令がふえると共に反比例して新しい友達仲間は減るかもしれませんが同じ

立場で悩んだり、うれしいことを解かりあえる気がして楽しくなりました。

私自身つい最近まで富田支部の会員であります電気工事会社の事務員を九年間やってまいりましたが、組合の仕事は又違った苦労もあり、良いところもありで、これから皆様に助けて頂いて一生けんめい頑張ってくださいと思いますのでよろしくお願いいたします。

△本部▽ 岡田千代子
初めまして、十二月一日からの新人です。どうかよろしく願い申し上げます。
誕生日は忠臣蔵・星座は射手座、犬大好き人間です。

飲酒運転はやめましょうね

